

施策 6 「子ども，大学生など若い世代の市政への参加の推進」に関する調査
ワークショップ（グループヒアリング）・個人ヒアリングについて

1 目的

若者の市政参加の現状について，より深い意見を聴く。

2 対象及び方法

対象	主に聴くこと	方法
市政参加の経験がある若者（ヒアリング）	<ul style="list-style-type: none"> これまでの青少年モニター参加者 附属機関等の公募委員 その他の市政参加の経験がある若者（主にアンケートにより把握） ※各 3 名程度（合計 9 名程度）	<ul style="list-style-type: none"> 制度を何で知ったか 参加しようと思ったきっかけ 参加して良かった点 物足りない，もやもやが残った点 友人に勧めるとしたら，どんな言い方をするか
若者支援関係者（ヒアリング）	<ul style="list-style-type: none"> （公財）京都市ユースサービス協会 若者支援に関わる NPO など ※ 2 団体程度	<ul style="list-style-type: none"> 若者の社会に対する興味の実情 社会に興味を持っている・市政に参加している若者の共通点 どうすれば，若者が興味を持つようになるか。
市政参加の経験がない若者（ワークショップ）	<ul style="list-style-type: none"> 青少年モニター登録者 ※最大 20 名（このうち，市政参加経験がない方が多く見込まれる）	<ul style="list-style-type: none"> 青少年モニター制度を利用 10 月下旬の平日夜を想定 京都市から市政参加の意義，制度，事例等について説明を行った後，4～5 人のグループに分かれてざっくばらんに意見を聴く 各グループにフォーラム委員 1 名

